2026年１月30日

各　位

会 社 名　　株　式　会　社　駅　探
代表者名　　代表取締役社長　　菊井　健大
（コード：3646　東証グロース）
問合せ先　　取締役　　　　　　島田　零三
（TEL. 03-6367-5951）

業績予想の開示に関するお知らせ

当社は、2026年３月期の業績予想につきまして、合理的な算定を行うための未確定な要素が多かったことから、これまで開示を見送っておりました。

一方、2027年３月期以降を対象とした事業計画（中期経営計画）につきましては、2026年１月30日に公表する予定として検討を進めた結果、事業計画（中期経営計画）の策定プロセスが進展し、事業環境および収益構造等に関する前提条件が一定程度整理されたことから、2026年３月期の業績につきましても合理的な算定が可能であると判断いたしました。

この判断を踏まえ、本日の取締役会において、2026年３月期の業績予想の開示について決議いたしました。

これにより、当初非開示としておりました2026年３月期の業績予想につきまして、売上高、営業利益を下記のとおり開示いたします。

１．2026年３月期の業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	－	－	－	－	－
今回修正予想（B）	2,961	△58	－	－	－
増減額（B－A）	－	－	－	－	－
増減率（%）	－	－	－	－	－
（参考）前期実績（2025年３月期）	3,499	116	161	57	12.15

２．業績予想数値の理由

売上高減少の主たる要因は、2025年３月21日に公表いたしました「連結子会社の異動（株式譲渡）完了に関するお知らせ」のとおり、株式会社サークアの全株式を譲渡したことで、前期の同社売上高288百万円が当期はなくなったこと、また、システム受託開発事業において、主たる顧客からの受託案件が顧客の内製方針等により減少しており、さらに主要なサービス事業である乗換案内の有料会員の継続的な減少等があります。また、営業損益につきましては、乗換案内の有料会員に係る売上高は減少しても高度な技術サービスは維持する必要性があり、社内の固定費を削減することが難しい中、外部への業務委託費や人材派遣費の圧縮に努めましたが、売上減少に伴う収益性の低下を短期間におけるコストコントロールだけで補うことは出来ず、営業損失を計上する見込みとなっ

ております。

なお、経常利益、当期純利益につきましては、当期業績予想の悪化ならびに来年度の業績目標が赤字であること、子会社の業績見通しに若干の幅があること等から引当金の戻入れや当社の固定資産に係る減損会計の要否を検討中であり、その確定までに時間を要するため開示を見送ります。

上記未確定数値につきましては、確定が出来次第、速やかに開示いたします。

以上